

氏名	山 本 純 己
学 位 の 種 類	医 学 博 士
学位授与番号	甲 第 251 号
学位授与の日付	昭和43年 3 月31日
学位授与の要件	医学研究科外科系整形外科学専攻 (学位規則第5条第1項該当)
学位論文題目	慢性関節リウマチに対する $^{198}\text{Au}$ コロイド関節内注入に関する研究
論文審査委員	教授 児玉 俊夫    教授 大内 弘    教授 田中 早苗

#### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

慢性関節リウマチの治療に際して、その活動性を鎮めるためには、全身療法とともに、局所療法も極めて大切である。局所療法の一環として  $^{198}\text{Au}$  コロイドをリウマチ患者 27名30膝関節内に注入した。臨床成績では児玉の判定法で3ヵ月後53%の有効であり、注入した膝関節内を関節鏡で観察すると、滑膜絨毛は壊死に陥っているものがある。注入後の滑膜組織を試験切除し光学顕微鏡で観察すると滑膜にはファイブローシス化、表層細胞の脱落、リンパ臑胞の萎縮などがみられ、マイクロオートラジオグラフでみると、 $^{198}\text{Au}$  コロイドは滑膜の表層細胞および滑膜下組織の結合織母細胞内に入っていることがわかる。また関節液中の不定形の壊死をおこした細胞内に  $^{198}\text{Au}$  コロイドが入っていることがわかる。大黒ネズミおよび家兎の腹水細胞の組織培養をおこない、細胞に  $^{198}\text{Au}$  コロイドを滴下すると細胞の形態および染色率に変化がみられた。

(昭和43年6月リウマチ第8巻第3号掲載)

## 論文審査の結果の要旨

慢性関節リウマチに金療法は最も有知なものうちの一つである。その局所投与と、局所関節での金の代謝をある程度解明した。また、放射性金の注入による滑膜切除術の病態を明らかにした点価値ある業績と認める。

よって本研究者は、医学博士の学位を得る資格があると認める。